

来週の「売り物記事」はこれ



2017年12月15日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

夕張市長・鈴木直道さんの挑戦

17日(日)



石炭産業の衰退をきっかけに民間企業でいえば倒産状態となり、2007年3月から「財政再建団体」（現制度では財政再生団体）として国の管理下に置かれている北海道夕張市。現在市長を務める鈴木直道さん（36）＝写真＝が東京都職員時代に初めて夕張を訪れてから、今月で10年になります。2011年から市長になった鈴木さんの月給は7割カットの25万9000円。でも鈴木さんは言います。「自己犠牲でやっているつもりはない。この夕張に何か貢献できれば、自分が存在した意味もあるんじゃないか」。この10年で鈴木さんは「意味」を見つけたのでしょうか。市長就任時から取材を続けてきた東京社会部の円谷美晶（みあき）記者が迫ります。



国語学者・金田一秀穂さんと振り返る

「政治の言葉」この1年

夕刊特集ワイド 18日(月)



「政治家にとって言葉は命である」と言われます。それなのに、どうしてこれほど粗雑に扱われるのでしょうか。政治の最前線で飛び交う「国難」「排除」「そんたく」「こんな人たち」「アウフヘーベン」などの言葉は、本来の意味とはかけ離れていたり、真実を覆い隠したり、社会の分断を深めたり……。この惨憺たる現状から見えてくるものとは？国語学者の金田一秀穂さん＝写真＝とともに、この1年の「政治の言葉」を振り返ります。

都大路に懸ける 全国高校駅伝

スポーツ面 19日(火)

年末の古都を若きランナーが疾走する「全国高校駅伝競走大会」が24日、京都・西京極陸上競技場を発着に開催されます。男子が第68回、女子が第29回を迎える今回も、全国から代表各47校が出場します。大会に先立ち、朝刊スポーツ面では19日から注目校を紹介する企画「都大路に懸ける」を連載。光ヶ丘女子（愛知、女子）、仙台育英（宮城・男女）、東海大福岡（福岡、男子）、興譲館（岡山、女子）、佐久長聖（長野、男子）の各校を取り上げます



点検 安倍政治5年

19日(火)から5回



安倍政権は26日に発足から5年を迎えます。安倍晋三首相＝写真＝の「1強」と呼ばれる政治状況はどのようにして出現したのか、その副産物として国政のあちこちにひずみが生じているのではないかと。来年9月の自民党総裁選を経てさらなる長期政権が視野に入中、対与党、対官僚、対野党、憲法改正、外交の五つをテーマに、安倍政治5年間の軌跡を点検します。

シャンシャン一般公開

1面、社会面 20日(水)

上野動物園(東京都台東区)のジャイアントパンダ「リーリー(力力)(雄)」と「シンシン(真真)」(雌)との間に生まれた雌の「シャンシャン(香香)」の一般公開が19日から始まります。18日には、関係者と報道陣を集めた「公開を祝う会」も開催されます。一般公開は抽選で1日400組(1組最大5人)に限定され、19~29日の第1期には24万7083組が応募するなどパンダフィーバーが起きています。



保育所の認可と認可外の違いは?

医療・福祉面 20日(水)



政府は、安倍首相が衆院選で公約した教育無償化など2兆円規模の政策パッケージを決定しました。しかし、政策の目玉である3~5歳児の「幼児教育・保育の無償化」は、財源や質の問題などからすべてを無償化とはせず、どの施設まで無償化とするかの決定は来年夏まで先送りされました。無償化対象となる認可保育、また線引きされそうな認可外保育にはそれぞれどんな種類があり、どんな違いがあるのか説明します。

健康狂想曲第4章 メンタルヘルス

くらしナビA面 20日(水)

心身のバランスがとれてこそ健康ですが、ストレスが多い現代社会では、うつ病などの精神疾患が増えているといます。大学の相談室は心の悩みを抱えた学生たちが訪れて大繁盛。企業では2年前に始まったストレスチェック制度の対応に追われます。さらに産前産後うつ対策に取り組む自治体も。心の健康を守るための取り組みを、5回にわたって紹介します。



きらり 仕事と趣味溶け合う



サラダぼうる

18日(月)



東京から青森に移住して7年半。青森100年ブランド事務所のブランドプロデューサー、藤代典子さんは仕事と趣味を溶け合わせる「ワークライフ・ハーモニー」を提唱します。東京から片道3時間かかる新幹線の車内で青森を感じられる「ご当地ヨガ」の普及に取り組み、さまざまなポーズを通じて、青森の名産品や観光地を伝えます。充実した生き方を紹介します。